

ユネスコスクール年次報告書

報告期間：2012年4月～2013年3月

※今年度の年次報告書は担当者の名前、メールアドレス、添付資料を除き、HP等で公表
します。また、ユネスコスクールの質の確保の観点から、報告書の内容が一定の基準に満
たないもの、報告書が未提出の場合には、ユネスコスクールの認定取消を勧告させていた
だきますので、あらかじめご了承ください。

1. 学校概要

学校名 岡山県立和気閑谷高等学校
種別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫教育
 中学校 高等学校 中等高等学校
 教員養成 技術/職業教育
 その他 ()
住所 〒 709 - 0422
岡山県和気郡和気町尺所 15
Website : http://www.wakesizu.okayama-c.ed.jp/
児童生徒数 : 男子 166 名 女子 289 名 合計 455 名
児童・生徒の年齢 15 歳～ 18 歳

2. 担当者

3. 実施活動 (複数選択可)

- 地球規模の問題に対する国連システムの理解
- 国際理解
- 世界遺産
- 平和・人権
- 環境
- 気候変動
- 生物多様性
- エネルギー
- 防災
- 食育
- 伝統文化
- そのほか ()

4. 活動概要

1年間の主な活動内容について簡単に記載願います（欄が足りなければ、添付資料をつけていただいても構いません）。

本校は、1670年に備前藩主池田光政公が設立した日本最古の庶民の学校「閑谷学校」を源流としています。その閑谷学校について研究することを活動の柱の1つとしています。今年度は22名の生徒が「閑谷学校ボランティアガイド」に登録し、年間を通して活動しています。主に、土・日・祝日を中心に2人1組の班を作り、観光客に説明を行っています。自分たちで調べ、まとめ、発表（ガイド）するというサイクルの中で、探究力・コミュニケーション力は着実に成長しています。

閑谷学校は本校の源流であると同時に、国宝の講堂をはじめ、すべての建造物が重要文化財に指定されており、創学の精神とあわせて、貴重でかけがえのない教育文化遺産です。ボランティアガイドは、教育文化遺産の保全と地域の発展を融合させる取り組みとして、これまでに新聞やテレビで何度も取り上げられています。6月にはUNESCOのホームページでボランティアを通じたESDの成功事例として紹介されました。「つながり」をキーワードに着実に成果を上げ、将来性の高い取り組みと評価されました。閑谷学校の世界遺産登録を目指す地元の動きに協力できる可能性を秘めていると言えます。

また、閑谷学校に隣接する青少年研修センターが主催する活動にボランティアスタッフとして参加する「グリーンズ」の活動も、なくてはならない存在として継続しています。特に小中学生の研修では「地元のお兄さん、お姉さん」として頼りにされています。

活動の2つ目の柱は、本荘小学校児童クラブでの学童保育です。今年度は46名が登録しています。月曜日から金曜日までのグループに分かれ、担当する曜日に出向き、宿題を教えたり、一緒に遊んだりしています。生徒は基本的に週1回で、部活動や委員会活動などと両立が可能で、小学校にとっては毎日本校生徒が訪問することになります。閑谷学校ガイドと併せると、本校生徒が毎日地元で活動していることになります。このことが評価され、プルデンシャルファイナンシャルからボランティアスピリット賞を3年連続、国際ソロプチミストから愛の基金をそれぞれ受賞しました。

第3の柱はエコキャップ運動です。これまでの生徒、教員および和気町役場に加えて、学童保育でのつながりで本荘小学校に依頼しました。児童向けのポスターや給食時間の校内放送での紙芝居を作成するなど、児童の視点で考えつながりを意識した活動ができています。さらに、和気中学校も活動に参加し、町内の小・中・高が1つのテーマで活動する拠点となりました。さらにエコキャップ運動で環境問題に関心が深まった生徒が、パックテストで町内の川の水質調査を行い、環境基準値よりも悪いことが判明し、「環境をよりよくするために水の使い方に気を付けてほしい」と呼びかけるなど、意識が深まり自発的な活動にもつながっています。

そして、本校の特長は、これらの活動をすべて生徒会主体で運営し、全校生徒に呼びかけているという点です。生徒会活動の活性化が学校全体へ波及し、地元地域に積極的に貢献しようとする生徒の道德性が高まっています。書きそんじハガキや防災ボランティアリーダー研修、各種フォーラム等への参加、地

